

平成26年度宝塚さざんか福祉事業計画

1 各事業所の利用者（定員）

事業所	利用者数（定員）	計
宝塚さざんかの家	生活介護 45 (40)	45 (40)名
宝塚あしたば園	生活介護 48 (40)	48 (40)名
宝塚めふプラザ	生活介護 24 (20)	24 (20)名
宝塚けやきの里	生活介護 30 (30)	30 (30)名
ワークプラザ宝塚	生活介護 36 (34) 就労移行 5 (6) 就労継続B型 8 (10)	49 (50)名
かしの木工房 こはま	生活介護 18(25) 就労継続B型 15 (15)	33 (40)名
従たる作業所「SasanQuality」	生活介護 8 (8)	8 (8)名
いきいき宝夢	生活介護 39 (40)	39 (40)名

合計 276 (268)名

2 経営ビジョンの策定

昨年度、職員の意見を募って法人理念を策定しましたが、今年度は理念実現に向けての具体的な経営ビジョンを策定します。

3 宝塚さざんかの家改修工事

昨年度実施した施設点検調査に基づき、緊急度が高い宝塚さざんかの家のトイレ及び外壁改修工事を、県補助事業として実施します。

4 安倉南作業所の利用

バリアフリーの特性を活かして、比較的動作の穏やかな利用者の作業場として利用し、今後、従たる作業所としての利用を検討していきます。

5 ケアホームの運営

年々、増加するホーム利用希望者に対応して平成25年度はホームを2か所整備しましたが、職員の確保ができず1か所のみ開設になりました。平成26年度に職員が確保でき次第、残る1か所のホームを開設するほか、年度後半にさらに1か所のケアホームの建設を進めます。また、平成26年度にケアホーム、グ

ループホームが一元化されることに伴い、今後のケアホームの整備及び運営方法について検討を進めます。

6 事故防止対策の充実

昨年度は死亡事故が発生しました。その反省を踏まえて各事業所に事故防止担当者を置いて事業所単位で事故防止に努めるとともに、担当者による法人全体の事故防止委員会を定期的開催して、発生事故や事故発生に至らなかったヒヤリ・ハット事例の検証を行って、これを法人職員全員で共有し、事故防止に努めます。なお、発生した事故については集約して、理事会及び評議委員会に報告します。

7 工賃支給基準の改正

利用者の工賃支給については、各事業所の収益を法人全体でプールし、一定の基準により利用者に工賃を支給していましたが、このような方法は国が定める施設運営基準に沿った方法ではないため、運営基準に従って当該事業所の収益は当該事業所の利用者に支払うよう支給基準を改めます。

8 プロモーションDVDの活用

昨年度、後援会の助成を受け、職員により作成したプロモーションDVDについては、平成26年度より法人・後援会の各種行事、職員募集、施設見学者への法人紹介及びショップ「SasanQuality」での使用など、積極的に活用します。

9 東日本大震災被災者支援

平成26年度においても、被災地の手をつなぐ育成会等の人的要請があれば極力、これに応え、また被災地作業所の授産品の購入及び販売促進の支援を行うなど、継続して被災地の復興支援に努めていきます。

10 新会計基準への対応

社会福祉法人の会計基準が平成24年度から大幅に改正され、移行期限が平成27年度までであることから、本年度はその移行準備として担当職員の研修をはじめ、理事・評議員への研修を行います。